

講義科目名称：韓国語（発展）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
劉 敏正			

講義概要	本授業は韓国語の入門段階の学習を終えた学習者が会話、聞き取り、書き取りなどの能力を検証する段階である。 日常生活で最も使われている韓国語会話を中心に学習するとともに基礎的な語彙を身につける。 さらに韓国語能力試験(TOPIK)の資格を取得することを目指す。
授業計画	<p>1 オリエンテーション：授業の進み方、自己紹介、アンケート調査</p> <p>2 名詞の活用と応用問題/教科書① p 2～17 / 教科書② p 102</p> <p>3 名詞の活用と応用問題/教科書① p 18～33 / 教科書② p 110</p> <p>4 名詞の活用と応用問題/教科書① p 34～41 / 教科書② p 118</p> <p>5 名詞の活用と応用問題/教科書① p 42～49 / 教科書② p 126</p> <p>6 名詞の活用と応用問題/教科書① p 50～57 / 教科書② p 134</p> <p>7 動詞の活用と反対語、応用問題/教科書① p 92～99 / 教科書② p 142</p> <p>8 振り返り及び小テスト</p> <p>9 動詞の活用と反対語、応用問題/教科書① p 100～115 / 教科書② p 150</p> <p>10 動詞の活用と反対語、応用問題/教科書① p 116～123 / 教科書② p 158</p> <p>11 動詞の活用と反対語、応用問題/教科書① p 124～131 / 教科書② p 166</p> <p>12 形容詞の活用と反対語、応用問題/教科書① p 182～189 / 教科書② p 174</p> <p>13 形容詞の活用と反対語、応用問題/教科書① p 190～197 / 教科書② p 182</p> <p>14 形容詞の活用と反対語、応用問題/教科書① p 198～205 / 作文</p> <p>15 全体のまとめ</p>
授業形態	二つの教科書を中心として講義を行い、必要に応じてプリント等を利用する。
到達目標	<p>①ハングルの読み・書き・聞き取りができるようになる。</p> <p>②基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話ができるようになる。</p> <p>③韓国語能力試験(TOPIK)の取得を目指す。</p> <p>④単語や文章を自ら調べることができる。</p>
評価方法	授業参加度(20%)、小テスト(20%)、課題又はグループワーク(10%)、期末テスト(50%)
評価基準	基本的には定期試験を中心にし、さらに授業態度・出欠状況・レポート・小テスト等を考慮して総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書：①TOPIK韓国語語彙初級/時代考試企画 ②絵で学ぶ初級語彙集(Basic Vocabulary with Pictures)/ 国際韓国語教育者協会(韓国語会話の教科書)
履修条件	ハングルの読み・書きができる。
履修上の注意	予習・復習をしてくること。
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。